

## 2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 横浜市立本宿中学校 ] 担当教諭名 [ 野口 雅史 ] ( 全学年有志 34名・芸術部 6名 )

相手国・地域 [ エストニア ]

海外学校名 [ Tamsalu Gymnasium ] 担当教諭名 [ Reena Curphey ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	課外活動	アートマイル国際協働学習プロジェクト	35

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	EARTH & PEACE
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	SDGsについて学び、メッセージをEARTHとPEACEの頭文字に込めました。 EARTH (E: earth A: animals R: rescue T: together H: health) PEACE (P: protect nature E: ecosystem A: animals C: care everyone E: environment)など。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsが数年前より世の中に浸透しており、より高い意識をもって、子どもたちも調べ学習に取り組んでいた。</li> <li>・海外の同世代の生徒と共に学ぶ機会が貴重であり、世界をより身近に感じている様子があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有志の活動であったため、学校行事や感染症との兼ね合いで時間の確保が難しかった。</li> <li>・日本での壁画が完成した後の時間をもう少し有効に活用できると学びが深まるのではないかと感じた。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsを切り口として、相手国のことを学びあい、伝え合う中で、相手国のことを知り、自国のことを再認識している様子があった。</li> <li>・様々な場面で世界との距離が縮まったように感じた。特に日本から壁画を送った際の追跡で様々な国を経由してエストニアまで届く様子を見て、生徒が「世界」を感じていた様子が印象的だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本活動単独ではなく、様々な教育活動の中でSDGsや国際理解などの学習に触れていくことで、有志の生徒のみではなく、他の生徒にも良い影響があることを感じた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 8月	SDGsの3と15について、双方で調べ学習を行った。SDGsを切り口として、エストニアについて学び、日本について再認識することができた。	積極的にインターネットなどの手段でSDGsや相手国について調べていた。疑問に思ったことは、フォーラムを通じて、質問をすることができた。	課外活動
共有 相手と意見交換	9月 10月	SDGsについて調べたことを双方でパワーポイントなどにまとめて、相手国に送り、それぞれで意見交換を行った。	自分たちが調べたことが相手に受け止めてもらえていることに対してとても喜んでいる様子や相手からの返信を楽しみにしている様子が見られた。	課外活動
融合 メッセージ作成	11月 12月	双方の国で学んだことをもとに、伝えたいメッセージをまとめるために、調整を行った。	PEACEなどの頭文字に学んだことを込め、パズルのピースのようにし、様々な要因が集まることで、目標達成のために必要だという思いをこめた。	課外活動
創造 壁画制作	12月 ～ 2月	双方で意見を出し合い、壁画のデザインを決定した。その後、半分ずつ両校で壁画の制作を行った。	一生懸命に制作する様子が見られた。制作していく中で、エストニアのことをより身近に感じ、さらに調べてみたいという気持ちを持っていた。	課外活動
評価 振り返り 自己評価	3月	双方の制作が遅れたため、写真で制作の様子を見て、これまでの取組の振り返りを行った。	自分たちが半分描いた壁画をエストニアの生徒たちが仕上げている様子を見て、とてもうれしそうにしていた。実物が届き次第、さらに振り返りを行いたい。	課外活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	調べ学習を行ったり、相手国とのやり取りをしたりする中で、異文化を学び、自文化を再認識している様子があった。違いを受け入れている姿があり、担当としては良かったと思っている。
主体的に考え行動する力	4	SDGsに関する調べ学習では、単なる調べ学習に終わることなく、調べたことをもとに、「相手国ではどうだろう」、「調べたことを全校生徒に伝えたい」などという気持ちをもっている様子が見られた。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	3	当たり前のことをただ当たり前として受け止めるのではなく、自分たちなりに考え、判断をしてほしいと思っていたが、その部分はより改善できるのではないかと考えている。
多様な他者と対話・協働する力 （海外の相手と対話・協働）	4	語学力の制限はあるものの、生徒それぞれが持てる力を使い、パワーポイントにまとめたり、何とか相手に調べたことを伝えようとしていたりする姿が見られた。
想いを言葉や形にする力 （メッセージ作成・壁画制作）	5	「融合」の時期に伝えたいメッセージをうまく融合させていた。頭文字に思いを込めたり、パズルのピースにするという案をお互いにやり取りをしたりしながらまとめられたのは良かったと感じている。